

## より良い意思決定のために

総合政策学部  
小井田伸雄

## 身近にある意思決定

- \* 就職先・進学先の決定
- \* 企業・組織の経営方針の決定
- \* 購入する商品の決定
- \* 今日の晩御飯を何にするか 等々
- ⇒ 重要さには違いがあるが、どれも切実な問題
- ⇒ どのような意思決定を行えばより「良い」のか？
- \* **経済学**(ゲーム理論・意思決定理論)はこのような問いに答えを与える
- ⇒ MBA(経営学修士課程)などで必須の分野

## 経済学における意思決定

- \* 消費者・生産者(企業)が**合理的**に行動していると仮定
- ⇒ 金銭的利益や心理的充足を基準にする
- \* **メリット**: 経済の仕組みを理解するための枠組みを提供できる
- ⇒ 競争・独占・環境汚染・投資・政府の役割・入札・交渉・マッチングなど多様な問題に应用可能
- \* **デメリット**: 「非合理的」な行動の分析が困難な場合がある

## 心理学・マーケティングにおける意思決定

- \* 人間の行動を一定の**バイアス(偏り)**の影響を受けやすい機械的なものとみなす
- \* **メリット**: より**現実的**な人間行動を描写できる
- 例) 非合理的だと分かってもダイエットをつい先延ばしにしてしまう
- \* **デメリット**: 既存の経済モデルとの関係が不明確
- ⇒ バイアスがあるときの市場における行動はどう変わるか？

## 本研究課題の目的

- \* 心理学やマーケティングで明らかになったさまざまな行動(バイアス)を分析できる経済モデルを構築する
- \* 期待される結果
  1. より現実的な経済行動を分析することができる
  2. 「合理的」な行動と「非合理的」な行動の境界を明確にし、より「良い」意思決定を行うために必要な要素がわかる

## 具体的な研究内容の例1: おとり効果

- \* 以下の2つの問題を考える
- \* **問題1**: 以下の2つの選択肢のいずれかを選ぶ
  - ・ 選択肢A 1000円の文具券
  - ・ 選択肢B 本来は2000円の価値があるが本日限定で800円のお洒落なボールペン
- \* **問題2**: 以下の3つの選択肢のいずれかを選ぶ
  - ・ 選択肢A 1000円の文具券
  - ・ 選択肢B 本来は2000円の価値があるが本日限定で800円のお洒落なボールペン
  - ・ 選択肢B' 定価800円の普通のボールペン

## 具体的な研究内容の例1: おとり効果 (続き)

- \* 問題1では選択肢Aを選ぶのに、問題2では選択肢Bを選ぶ人がいる
- ⇒ 選択肢B' (おとり) の存在によって自分にとって最も「良い」選択が変わる
- ⇒ 「非合理的」な行動
- ⇒ 本研究課題ではこれを説明できるような経済モデルを提案 (Koida, 2013a)

## 具体的な研究内容の例2: 内的葛藤

- \* 問題3: 2台の自動車のうち1台を購入する
  - ・モデルA: 豪華だが価格が高い
  - ・モデルB: 価格は安いが装備が少ない
- \* どちらも同じくらい魅力的だとしたら?
- ⇒ 消費者は2つの選択肢の間で葛藤を感じ、購入するモデルをなかなか選ぶことができない
- ⇒ 従来の経済モデルでは分析が不可能
- ⇒ これを分析可能にするような経済モデルを提案 (Koida, 2013b)

## 具体的な研究内容の例4: 不確実性

- \* 問題4 (エルスバークのパラドックス)
- \* 赤のボールを選ぶと1万円が当たる。どちらの箱からボールを引くか?
- \* 箱X: 赤のボール50個、白のボール50個が入っている
- \* 箱Y: 赤と白のボールが合計で50個入っているが、比率は分からない

## 具体的な研究内容の例4: 不確実性 (続き)

- \* 「確率的」に考えるとどちらの箱も同条件はずなのに、多くの人は箱Xからボールを引くのを好む
- ⇒ 通常の確率論で表現することができない不確実性がある!
- ⇒ これを説明するための経済モデルが多数提案されている
- ⇒ 本研究課題では、このようなモデルを時間を通じた選択問題に適用するための方法の一つを提案した (Koida, 2012)

## まとめ

- \* 経済行動を分析するための優れた枠組みである経済学に心理学の視点を取り入れることにより、より現実的な意思決定の分析を行うことができた
- \* 「合理的」な行動と「非合理的」な行動を比較することで合理的な選択を行うために必要な要素が明らかになった
- \* 今後は、他の心理的効果の分析と並行して市場の分析などより詳細な経済モデルの分析を進めたい

## 参考文献

- \* Koida (2012), Nest-monotonic Two-stage Acts and Exponential Probability Capacities, *Economic Theory* 50(1), 99-124.
- \* Koida (2013a), Anticipated Stochastic Choice, mimeo.
- \* Koida (2013b), A Multiattribute Decision Time Theory, mimeo.